



8月の出前授業の紹介

湯口小学校で8月24日に「多田等観」の出前授業を行いました。等観は秋田県生まれのチベット仏教学者ですが、湯口との関係がある人物なので、湯口小学校では例年、「郷土に関わる先人」として6年生が学習しているそうです。

スライドを使って解説を行った後、等観がチベットから持ち帰った資料を観察してもらいました。特にマニ車に興味を惹かれたようで、質問もマニ車に関するものばかりでした。

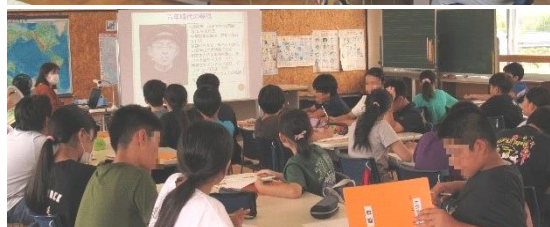
これが、マニ車



最後は、「等観のことをいろいろ知ることができてよかった」「湯口にこんなに立派な人がいるということを知ることができてよかった」などの感想が出されました。

最初から最後まで静かに集中して聞いていて、たくさんメモも取っていて、とともしっかりとした授業態度でした。

湯口小学校の出前授業の様子(6年生)



8月9日に 出前授業検討会 が開催されました

博物館の出前授業が、より「利用したい」と思われる内容になることを目指して、検討会が行われました。参加していただいた先生方、ありがとうございました。

前半のフィールドワークは生憎の雨模様でしたが、学芸員からの説明を受けながら花巻城の全体像を観察していただきました。普段見慣れている場所でも、説明を聞きながら見ることで、新たな発見がたくさんありました。

後半の検討会では、先生方から、出前授業の改善案をたくさん提言していただきました。提言については館内で検討し、改善可能なものから一つずつ改善していきたいと考えています。また、提言の詳細は次号以降に可能な限り紹介していきます。



円城寺門（鳥谷崎神社に移転されたもの）



花巻城西門（復元されたもの）

【裏面に続く】

花巻市博物館 特別展のお知らせ

日本中の子どもたちを笑顔にした 絵本作家



かがくいひろしの世界展

©Hiroshi Kagakui

「博物館だより第70号」で詳細をご紹介していた「かがくいひろしの世界展」が、いよいよ今月30日から当館で開催します。

今回の特別展では、絵本作家として知られる前の、**特別支援学校の教員として障がい児教育の黎明期から携わってきた**歴史も紹介します。市内の先生方にとって、今後の教員生活へのヒントがあるかもしれません。この特別展は先生方にも特に「オススメ」します。

1 期間 9/30 (土) ~ 12/24 (日)

2 展示構成

- 第1章 笑いのまんなか
- 第2章 人を楽しませることが好きな少年
- 第3章 **特別支援学校のかがくい先生**
- 第4章 絵本の仲間たち
- 第5章 ちいさな生活の間から
- 第6章 自分の表現を探して
- 第7章 物語はつづく

3 関連イベント

記念講演会

講師：水島尚喜氏

(聖心女子大学教授)

日時：10月8日(日)

13時30分~15時

場所：講座体験学習室

定員：40名(※要電話申込)

かがくい氏の学芸大学時代からの友人で今回の特別展の監修者

絵本作家 かがくいひろし

かがくいひろし氏は、東京学芸大学教育学部美術学科を卒業後、特別支援学校の教員として長く務めました。どうすれば子ども達が笑顔になるかを常に考えながら、さまざまな教具などを作ってきたそうです。

後に50歳で絵本作家としてデビューし、多くの絵本を世に出しました。代表作の「だるまさん」シリーズは、累計発行部数900万部を超え、子ども達に広く愛されています。

かがくい氏の絵本が愛されるのは、「大変な世の中だからこそ、絵本でみんなを笑わせたい」という、氏の、子ども達への深い愛情から生まれたものだからなのでしょう。



かがくいひろし
(1955~2009)

撮影：大志摩洋一

子どもたちの絵画作品展

対象：県立清風支援学校小学部と市内小学校の支援学級に在籍する児童、矢沢地区幼児保育施設の年長クラスの園児

テーマ：わたしの好きなもの

場所：企画展示室前(ミュージアムストリート)

期間：9月30日(土)~12月24日(日)

るんびにい美術館「であい授業」

講師：板垣崇志氏(るんびにい美術館アートディレクター)

小林 覚氏(るんびにい美術館アーティスト)

日時：11月23日(木・祝) 10時~11時

場所：講座体験学習室

定員：40名(※要電話申込)

この他にもイベントがあります。詳しくは博物館HPでご確認ください。

小中学校の児童生徒は、期間中、特別展を含めた**入館料が無料**になります。

学級の子供達への声かけを、よろしくお願ひします。